

そのわまつり 反省会

実施概要

- 日時: 2026年5月16日(土)
- 場所: 園和小学校
- 内容: ステージイベント、各地区・地域団体・事業者によるマルシェなど
- 主催: そのわまつり実行委員会

1. 成果と良かった点

全体の成果

- 来場者数が多く、活気のあるイベントとなった。
- 子ども向け企画が好評で、家族連れの参加が多かった。
- 事故やけががなく安全に終了できた。
- 短い準備期間にもかかわらず、関係者が協力して実施できた。

良かった点の具体例

- 出店者が広いスペースで準備・片付けをスムーズに行えた。
- 禁酒・禁煙が守られ、会場全体の秩序が保たれた。
- ごみの持ち帰りを徹底したことで、廃棄物が少なく環境面でも良好。
- 自動車や自転車の誘導がスムーズで、動線管理が適切だった。
- 配布したプログラムが美しく、分かりやすいと好評だった。

2. 課題と反省点

実行委員会・運営体制

- 情報共有不足により、実行委員会の役割や担当が不明確だった。
- 担当者や責任者が明確でなく、現場での判断に迷う場面があった。

会場配置と動線

- 会場配置が「口の字型」だったため、ステージが一部から見えにくかった。
- 暑さの影響で日陰に人が集まり、ステージ前が空いてしまった。
- 駐輪場スペースが不足し、一部指定外の場所に自転車が置かれた。

ステージ企画・進行

- ステージ進行が分かりにくく、開始・終了のタイミングが不明瞭だった。
- 音響に課題があり、音量が聞き取りにくい、または大きすぎる場面があった。
- ステージの空き時間に活用できる企画や案内が不足していた。

広報・プログラム

- プログラムの配布場所が分かりにくく、案内表示が不足していた。
- 出店者やステージ出演者の紹介を場内放送で補足する工夫が足りなかった。

広告協賛・協賛者対応

- 協賛広告の依頼・集金・掲載確認・御礼対応が不十分だった。
- 協賛事業者へのお礼訪問やフォローが遅れた。

準備・設営・撤収

- 前日準備の指示が統一されておらず、何度も行き来する手間が発生した。
- ライン引きや区割りの段取りが分かりにくく、資材不足もあった。

その他

- 暑さ対策が不十分で、観客や出演者の快適性に課題があった。
- トイレットペーパーなど消耗品の不足が発生した。
- 翌日のクリーン運動が負担となり、スケジュール調整が必要。

3. 次回開催に向けた改善点

実行委員会・運営体制

- 統括責任者、副責任者、分野別責任者を明確化し、役割分担を共有する。
- 出店者・出演者も含めた事前説明会を実施し、共通理解を深める。

会場配置と動線

- ステージの見え方や観客動線を考慮し、コの字型配置や日陰対策を検討する。
- 駐輪場スペースを十分確保し、案内表示や誘導を強化する。

ステージ企画・進行

- ステージ進行台本を作成し、開始・終了のタイミングを明確化する。
- 音響テストを事前に実施し、音量調整を徹底する。
- ステージ空き時間にブース紹介やゲーム企画を取り入れる。

広報・プログラム

- プログラム配布場所に案内表示を追加し、場内放送で補足する。
- 出店者や出演者の紹介をタイムスケジュールに基づき定期的に放送する。

広告協賛・協賛者対応

- 協賛担当を複数人体制にし、依頼から御礼までの流れを一覧管理する。
- 協賛事業者へのお礼訪問を速やかに行い、次年度の協力依頼につなげる。

準備・設営・撤収

- 前日準備の作業計画書・配置図・持ち物リストを作成する。
- 設営責任者を配置し、現場指示を一本化する。
- ライン引きや区割りの方法を見直し、必要な資材を事前に準備する。

その他

- 暑さ対策として、日陰スペースやテントを増設する。
 - 消耗品(トイレットペーパー等)は事前に十分確保する。
 - 清掃日程を調整し、参加者負担を軽減する。
-

4. 次回に向けた重点改善項目

1. 実行委員会体制の明確化
統括責任者や分野別責任者を明確にし、情報共有を徹底する。
2. 会場配置と暑さ対策
ステージ前の観客動線や日陰スペースを工夫し、快適な会場を作る。
3. ステージ進行の改善
進行台本を作成し、司会進行と音響調整を強化する。
4. 広告協賛・会計処理の整理
協賛者対応を迅速に行い、未払い防止と次年度協力依頼につなげる。
5. 準備・撤収の効率化
設営計画書を作成し、資材準備や現場指示を改善する。